

障害のある人への虐待を防ぐために 一人ひとりができること

—皆が笑顔の日常を目指して—

参加費
無料

「障害者虐待防止法」の施行から5年が経ちました。

障害者虐待の加害者とならない、加害者をつくらないために、家族・地域で何ができるのでしょうか。記者として、障害のあるお子さんを育ててきた父として障害者権利擁護、障害者虐待防止に取り組んでこられた野沢和弘氏を講師にお迎えしてお話いただきます。

日時 平成30年 **3/8 木** 午後2時10分～午後4時(午後2時開場)

会場 文京総合福祉センター4階 視聴覚室

講師 野沢 和弘氏(毎日新聞社論説委員)

定員 100名(申込順) **申込方法** FAX又は電話にてお申込みください。

締切 平成30年3月7日(水) 手話通訳・保育あり。
※保育希望(区内在住・在勤・在学者に限る)は2月28日(水)までに要予約

申込み・問合せ先 文京区役所福祉部 障害福祉課 TEL 5803-1214 FAX 5803-1352



【文京総合福祉センター】文京区小日向 2-16-15

- B-ぐる 「文京総合福祉センター」徒歩1分
 - 東京メトロ 有楽町線「江戸川橋駅」4番出口徒歩4分
 - 都バス 「江戸川橋駅」から徒歩約8分、「石切橋」から徒歩3分
- ※駐車場の用意はありません。お車のご来場はご遠慮ください。

【講師プロフィール】

野沢 和弘 (のざわ かずひろ) 氏



1983年毎日新聞入社、津支局、中部報道部(名古屋)を経て92年に東京社会部へ。いじめ、引きこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などに取り組む。社会部副部長、夕刊編集部長などを経て2009年から論説委員(社会保障担当)。元千葉県障害者差別をなくす研究会座長、社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員

主な著書に「障害者のリアル×東大生のリアル」「条例のある街」(ぶどう社)、「あの夜、君が泣いたわけ」(中央法規)、「廃墟の中の希望」「なぜ人は虐待するのか」(Sプランニング)、「わかりやすさの本質」(NHK出版)

参加申込書 (FAX 5803-1352 文京区障害福祉課)

※電話にてお申込みの際は以下の内容をお伝えください。

| | |
|------|---|
| お名前 | 保育希望の有無 (ご希望の方は○をしてください) |
| 電話番号 | <p>保育を希望する</p> <p>※保育の希望は2月28日(水)まで。 区内在住・在勤・在学者に限る。 ※保育希望の方へは後日、詳細をご連絡いたします。</p> |

